

# 刻む会 たより

NO. 70

2018年10月2日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・木村道江

事務局 宇部市常盤町一―一九（宇部緑橋教会内）

カシノ振込先 ゆうちよ銀行 口座番号 01590・7・32405

TEL 0836（21）8003

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円

《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

<http://www.chouseitankou.com>

メール

[kizamukai@chouseitankou.com](mailto:kizamukai@chouseitankou.com)

長生炭鉱のご遺骨が海を越える日

共同代表 井上 洋子

遺骨収集への運動の転換

2013年2月2日「長生炭鉱犠牲者追悼碑」が22年の歳月をかけて遂に市民の手で完成した。何度となく追悼式のために来日し、この日を待ちわびた韓国のご遺族の中には、碑を見ることなく亡くなられた方々も多い。碑の除幕式が済んだ後開催された追悼集会では、韓国遺族会から「刻む会」に対する感謝の言葉と同時に鋭い指摘がされた。その時追悼碑建立という一大事業を成し遂げた「刻む会」のメンバーの大半は喜びと安堵の真ただ中にいた。

集會冒頭、金亨洙（キム・ヒヨンス）遺族会会長は「これで終わりではありません。日本政府は反省しなければなりません。あの冷たい海の底に放置してある私たち家族

の遺体を発掘し韓国の地に葬らなければなりません。日本の皆さまが大きな声で日本政府に遺骨収集を要求して下さいと、遺骨収集こそが遺族会の悲願であることを改めて日本人支援者に対し表明した。



金亨洙（キム・ヒヨンス）  
遺族会会長（右）

続いて孫鳳秀（ソン・ボンス）韓国遺族会事務局長は、「追悼碑が建立されたにもかかわらず私たちの心は重い」と切り出し、「刻む会」が当初の目的をほぼ達成し、これで全てが終了したと思っていな

郷の土地に安置することを日本政府の謝罪と共に第一義的要求としてきたことを訴えた。さらに、「犠牲者の持ち物を返還すること、西光寺にある位牌をきちんと安置すること、ピーヤを保存し後世までこの悲劇を伝えること、追悼式出席等政府レベルで遺族会を支援すること、そして、無念の死を遂げた犠牲者と長年苦勞をしている遺族たちに謝罪の意味での心的物質的補償を日本政府に要求していく」という立場を改めて明らかにした。

孫事務局長は、「刻む会」は追悼事業をはじめた出発点に戻るべきだと述べ、「皆さまのお父さんが何の理由もなく他国に連れて行かれ、強制労働を強いられ、海の底に放置したままいたとしたら、どんな思いでしょう。私たち遺族会は途方もないことを言っている



孫鳳秀（ソン・ボンス）  
事務局長

と思われるのでしょ  
うか。私たちの希望  
は素朴です。父の残  
した遺品を探し出し  
たいのであり、父を  
海の底から引き上げ  
遺骨を故郷の地に葬  
ってあげたいだけな  
のです。皆さまなら  
できます。良心があ  
り、実践できる日本  
人ならできます。私  
たちは皆さまを信じ  
ています」と結んだ。



壇上にかけて上がり発言する  
故・山口武信代表(左)

閉会を迎える中、突然「刻む会」の山口代表が壇上にかけて上がり、「遺骨発掘は手が付けられないと考えていたが、これからは手をつけなければいけない。時間もかかるでしょう。遺族はどれだけ悲しいものか、それを思えばしなければならぬ。そこまでいって初めてこの事業も終わるのではないかと」と、心からの思いが突いて出て、これが山口武信代表(当時)の公式な場での遺言となった。

この歴史的な追悼集会を経て、「刻む会」の活動は「遺骨の発掘収集」という壮大な目標へと完全にシフトしはじめたのだった。結成当初「刻む会」は、韓国遺族会の遺骨への深い思いを知りながら、「遺骨収集」を会の目標に挙げる事ができなかった。

それは、小さな市民運動にとってはあまりにも大きな課題であり、目標にすることで韓国遺族会に過大な期待を持たせることになりはしないかとの危惧からだった。しかしそれは、日本人側の自己満足的な運動でしかなかった。本来は、加害国の市民として、徹底的に被害者側の心に寄り添い、その願いの実現に力を尽くすべきであり、やっとその時がきたのだ。しかも新たな目標はご遺族の高齢化を思うと速やかに実現させなければならぬ。

### 東京「国平寺」・長崎「天徳寺」遺骨奉還追 募法要に出席して

今年2月27日に東村山市「国平寺」の朝鮮人無縁仏33柱が韓国に奉還されることになり、私も法要に出席させていただいた。

羽田空港に向かうバスの席で私はその中のひとつのご遺骨を抱いたが、そのご遺骨の命日は長生炭鉱犠牲者の命日と稀しくも同じ2月3日だった。なんとという偶然か。この鳥肌が立つような出来事は、私が同じ命日の長生炭鉱の



国平寺での遺骨奉還法要で発言する  
井上洋子共同代表

ご遺骨を必ず抱く日が来ると予言しているかのような出来事に思えた。

また、5月31日には終戦直後に帰国船が台風で難破し、吉岐対馬に流れ着いた在日のご遺骨131柱が埼玉県所沢市「金乗院」から吉岐市の「天徳寺」に移され法要が営まれ、臨席させていただいた。「せめて韓国に近い吉岐市でお預かりしたい」という吉岐市長をはじめとした市民の切なる願いが国を動かしたという。山口県も宇部市も長生遺骨問題は国がすべきこととして傍観者でいるが、まずは地元自治体がその責任で国に要請すべき責務があると思う。

### 第1回政府交渉が実現

2004年12月の小泉純一郎・盧武鉉両首脳会談において、朝鮮半島出身民間徴用者遺骨の返還について合意がされたが、調査対象は遺骨が返還できる状態のものに限られ、長生炭鉱の遺骨は「海の底にある」という理由でその対象からはずされていた。

越えなければならぬ壁は幾重にもあるが、それでも人道



政府交渉の様子

的観点から長生炭鉱遺骨問題を超党派の政治課題へと取り上げてもらうために、私たちは未知のとりのくみを行うことになった。まずは政権側議員からの接触を試みたが徒勞の日々が続いてきた折、社民党の福島みずほ議員が自ら関心を寄せて下さり、今年2月8日ついに政府交渉が参議院会館で実現した。

政府側は「人道調査室」「外務省」「内閣官房副長官付補」等6名が出席し、その中で長生炭鉱の悲劇は何人たりとも否定できない「人権」の課題であることが改めて共通の認識として確認できた。韓国政府からの正式な要請も事態解決のためのひとつの切り口としては必要であることも確認された。今後日本政府による現地調査と遺族の悲痛な願いを直接政府に届けるために交渉を続けていくこととした。

### 情勢は大きく動き始めた

4月27日、分断70年の歳月を経て南北の両首脳が板門店で会談し、南北の平和的統一に向けて、歴史は大きく動き始めた。小さな朝鮮半島は、今後は大きな国の思惑に翻弄されてはならないという両首脳の固い意思が私には感じ取られた。

この流れの中で、韓国の民間団体「民族和解協力汎国民協議会」（民和協）が8月

6日都内で会見し、北と南、日本の民間団体が協力して徴用者の遺骨返還に取り組むことを発表し、その中に山口県の長生炭鉱犠牲者の遺骨発掘も明記されていた。ようやく強制連行・強制労働の象徴的課題として長生炭鉱の遺骨問題が押し上げられてきた。「刻む会」の地道な長年の活動は無駄ではなかった。

地元宇部市の市民の関心も大きくなってきている。5月に来日した韓国プチョンの子どもたちと長生炭鉱ワールドワークを行ったが、市内の中学生が20人も参加してくれた。8月の宇部市図書館での平和フェスタ企画では、長生学習会に台風真ただ中だったが、70名を超える親子が来場してくれたし、地元企業からの遺骨発掘に向けた協力という嬉しい申し出も「刻む会」に届いた。

また、8月9日には南と北、日本市民と連帯して「強制動員問題解決と対日過去清算のための共同行動」も発足となり、遺骨問題も含め大きな動きが加速されてきた。

まずは物言わぬ遺骨の発掘・奉還を最優先して取り組んでほしいと願っている。遺骨は骨にすぎない。しかし私たちは無念の死の果てに骨となったその遺骨を暗闇から掘り出し光をあて、その遺骨に肉を付け、服を着せ、魂を引き寄せて、犠牲者の尊厳

を復活させねばならない。そのご遺骨の生きた証を故郷の地に復権することが、加害国としての日本政府と市民の最低なすべき責任であり使命と言える。

遺骨の収集と返還を、人権の課題として広範な力で実現していくその過程の中で、日本の植民地支配の実態や在日の皆さんの置かれてきた歴史的状况も自ずと明らかにされていくに違いない。

長生炭鉱の遺骨発掘事業が南北朝鮮と日本政府、市民の共同事業として成し遂げられる時、真の友好と平和もまた大きく前進するものと確信している。

### 長生炭鉱犠牲者遺族を探しています！

#### 当時の証言を集めています！

遺骨収集事業を実現するために犠牲者遺族のDNA検体採取を行っております。既に25名の検体を採取しておりますが、ご遺族が判明していない方々が多数おられます。一人でも多くの犠牲者遺族のDNA検体を採取するために、情報提供・協力をお願いしています。現在、当会ホームページにて犠牲者一覧とDNA採取状況を掲載して、情報提供を呼び掛けています。

また、当時の様子などの証言情報も同時に継続的に募集しています。

みなさまのご協力をよろしくお願いします。

## 韓国人被爆者追悼式並びに駐広島

### 総領事主催の午餐会に参加して

共同代表 木村道江

去る8月5日広島市平和記念公園において韓国人被爆者追悼式が行われ、参加した。原子爆弾は広島市民20数万の尊い生命を奪った死没者の中には、当時、現役軍人・軍属、徴用工訓練隊、学徒動員、一般在住の朝鮮人2万数千名が含まれていたと推測されている。1970年公園外(本川橋西詰)に建立された追悼碑は、1999年平和公園内に移設され、今年で49回目の追悼式が挙行された。死没者名簿には今年新たに12名が追加され、総数2746名の名前が奉納されている。

今年、南北朝鮮はともに70周年を迎え、節目の年に全く新しい関係が切り開かれた。南北が対立の歴史を乗り越え和解を深めることは歓迎すべきことである。総領事金宣杓氏の追悼辞の中に「新春とともに韓半島に平和の流れが形成されつつあります。韓半島で核兵器をなくし、戦争の可能性を消し去るための努力が、いまや韓国と周辺国で芽生えつつあります。被爆73周年韓国人原爆犠牲者慰霊碑の前にたち、平和は何よりも大切で、平和こそが人類繁栄を約束すること、午餐会において、国連事務次長兼軍縮担当上級代表中満泉氏は「核兵器廃絶のた

め、政治家も市民社会も、民衆ひとりひとりが市民レベルでの親善交流を積み重ねて朝鮮半島の非核化を実現しよう」と力強いメッセージを語られた。

核問題解決のためには米朝が正面から向かわねばならない。紆余曲折はあろうが、非核化に向けた首脳会談も行われている。会談は少しずつ前進が見られ、今後に期待し、私たちも更なる交流を積み重ねて互いに平和を創りだしていこうという思いを新たにした時であった。



韓国人被爆者追悼式の様子

### 活動日誌(前回たより以降)

※太字：詳細は記事にて紹介

2018年

- ▽7月7日(土) B-IYP 青少年交流会反省会
- ▽7月11日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- ▽7月13日(金) 第40回長生炭鉱水没事故問題解決協議会
- ▽7月19日(木) 第5回運営委員会
- ▽7月27、29日(金、日) 平和フェスタ2018
- ▽8月5日(日) 韓国人原爆犠牲者慰霊祭(広島)
- ▽8月8日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会・山口県人権対策室との協議
- ▽8月11日(土) 趙憲正(チョ・ホンジョン) 牧師 FW
- ▽8月17日(金) 「平和のための戦争展」(18) 講師派遣
- ▽8月23日(木) 第6回運営委員会
- ▽9月8日(土) 真相究明ネットワーク事務局会議(神戸)参加
- ▽9月12日(水) 県議会議員との懇談会
- ▽9月20日(木) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- ▽9月20日(木) 第7回運営委員会

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会の「夏の学習会」は、医療生協健文会「平和フェスタ2018」の一環として取り組みました。

「平和フェスタ」は7月27日(金)から宇部市立図書館で行われ、刻む会は、29日(日)午前10時から「海に沈んだ炭鉱」のビデオ上映と井上洋子共同代表のトークを行いました。

夏休みということもあり、親子連れなど子ども11名を含む74名の参加がありました。また、韓国・プチョン市の中学生と交流した宇部市内の中学生2人がボランティアとして参加してくれました。

参加者から「長生炭鉱が『朝鮮炭鉱』と呼ばれていた意味が分かりました。初めて知ることもあり、感慨深いものがあります。』などの新鮮な感想が数多く寄せられました。」

図書館の入り口を入ると案内看板！



参加者アンケートより

## 感想紹介

(抜粋)

本から学ぶより、生の声は、真にせまっていました。改めて学習になりました。子ども達の参加はとてもうれしいです。

今まで自分が知らなかったことも深く学びました。子どもと一緒に学べてよかったです。

多くの問題をかかえる重大事件にもかかわらず、行政と国は重きを置いていません。戦争や危険な作業、多くの朝鮮人が働き犠牲になった事実を知らせるべきです。

ずっと子どものころから長生で生まれ育ってきたので、私にとっては身近な話でした。とてもわかりやすく話がまとめでありました。



DVD上映後のトークの様子



1階の展示室では、長生炭鉱のコーナー展示をしました。

【委員会会議開催】

1. 第5回 7月19日(木) 欠席4名。
2. 第6回 8月23日(木) 欠席2名。
3. 第7回 9月20日(木) 欠席5名。

【77周年追悼集会】

1. 韓国遺族会との日程調整。  
2019年2月16(土) 11時開会。
2. 内容について検討。

【追悼ひろば】

1. パンフレット設置の検討。
2. 入口角ヘガードコーン設置。
3. ひろばの前の消えかかった指導線（横断歩道）引き直しを宇部市当局に要請。
4. 清掃実施。
5. 壁面空きスペースへの写真資料展示検討。

【遺骨等収集】

1. 国政府との交渉のため国会議員との連携調整。
2. 山口県政の取り組み回答書を受け、県議会議員との懇談実施9/12(水)。
3. データベース拡充。
4. 遺骨収集のための地元業者との懇談実施7/5(木)。

【学習会等】

1. 2018 平和のための戦争展（8/17(金)～19日）「山口市民会館」に委員を派遣・講演（8/17）。
2. 平和フェスタ2018  
実行委員会7/19(木)に委員を派遣。  
7/27～29(金～日) パネル展示

7/29(日)夏の学習会としてDVD『アボジは海の底』上映とお話

3. 趙憲正(チョ・ホンジョン) 牧師 FW  
8/11(土)受入。

4. 朝鮮大学生と総連青年同盟 FW  
8/20(月)受入。

5. 長生マタン(BIYP)青少年交流会参加者対象の交流会) 8/24(金)を企画案内するも参加者なしのため流会。

【証言・関係資料収集発刊】

1. 過去の炭鉱跡居住者1名への聴き取り作業継続。

2. 映像と紙資料のデジタル化の作業継続。

3. 韓国出版『角が出た海』の日本語版出版作業継続。

4. 紙芝居「アボジは海の底」のオリシナル映像化作業継続。

5. (仮称)フィールドワークノートとオープンプログラムについて検討継続。

【行政交渉】

1. 宇部市当局との第40回協議会開催  
7/13(金)「宇部市総合福祉会館」

(1) ピーヤの説明板設置 市教委より一部修正の打診を受け協議。

(2) ピーヤ等の保存 当局は所有者不在を理由に文化史跡指定に難色。

(3) 追悼集会への協力 当局は従前を主張。

(4) 市民への教育 時間が無く協議なし。

(5) 遺骨等の収集と返還 当局は国の責任のみを主張。

(6) 追悼碑への協力 時間が無く協議なし。  
(7) 第41回は10/2(火)10時「宇部市総合福祉会館」

2. 山口県当局より6/20(水)提出の要望書に対する回答書受領7/27(金)。内容はゼロ回答。県議の協力を得て議会で再要望。

3. 県議会議員との懇談会実施 9/12(水) 参加議員5名。

4. 国政府への申し入れ準備。

【山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題】

1. 朝鮮学校を支援する山口県ネットワークの加盟団体として、県知事(原則毎月第2水曜日)と下関市長(原則毎月第4火曜日)への要請行動に参加。

2. ネットワークのHPと会計を引き続き担当。

3. 宇部市人権施策推進審議会へ質問書再提出8/7(火)。回答書9/7(金)付受領。対応を検討。

【他団体との連携】

1. BIYP青少年交流会反省会7/7(土)に委員派遣。

2. 韓国人原爆犠牲者慰霊祭8/5(日)に委員派遣。

3. 関東大震災犠牲者遺族来訪対応9/6(木)。

4. 強制動員真相究明ネットワーク事務局会議9/8(土)に委員派遣。

【その他】

1. ホームページの拡充検討。

2. 会報誌『刻む会たより』発行準備。



【一般会計】

	科目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	520,000	285,000	285,000	54.8%	
2	寄付金	1,000,000	386,020	386,020	38.6%	※
3	物販	40,000	8,900	8,900	22.3%	
	証言・資料集	30,000	2,900	2,900	9.7%	
	その他	10,000	6,000	6,000	60.0%	
4	雑収入	5,000	0	0	0.0%	
5	前期繰越金	0	0	0		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,565,000	679,920	679,920	43.4%	
歳出						
1	事務費	60,000	46,348	46,348	77.2%	
2	広報費	220,000	50,935	50,935	23.2%	たより印刷送料
3	会議費	30,000	0	0	0.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	1,854	1,854	18.5%	電気代
5	活動費	980,000	158,736	158,736	16.2%	
	学習会等	180,000	78,971	78,971	43.9%	
	追悼集会	600,000	0	0	0.0%	
	その他活動	200,000	79,765	79,765	39.9%	
6	他団体会費等	45,000	10,000	10,000	22.2%	無窮花友好親善の会
7	雑支出	35,000	6,800	6,800	19.4%	
	手数料	25,000	6,800	6,800	27.2%	
	その他	10,000	0	0	0.0%	
8	予備費	50,000				
9	特別会計へ繰出	135,000	0	0	0.0%	
	小計	1,430,000	274,673	274,673	19.2%	
10	繰越金	0	405,247	405,247		
	合計	1,565,000	679,920	679,920	43.4%	

※ 寄付者（敬称略）

石田 耕一 市川真美恵 井上 洋子 今橋 宣子 内岡 貞雄 鎌野 真 姜 潤 華  
 菊池 登 木原 千成 木村 英人 栗原 健 香渡 清則 古賀 明江 齊藤美代子  
 澤田 雪江 島袋 隆 島村真知子 白川 健一 徐 根 植 高橋しおち 寺尾 光身  
 都 相太 長澤連三郎 永富 彌古 成田 俊一 野口 道彦 林 修二 和明 閑牛  
 福田富美子 藤本エイ子 三宅 冬樹 宮田 幸好 森田 彰人 森次美代子 山内小夜子  
 山県 順子 山本 昌男 横山 正代 湧川 静子 東京朝鮮人強制連行真相調査団

（その他匿名9名）

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,632,116		ガードコーン設置	26,892	
繰入金	0		繰越金	1,605,224	
合計	1,632,116		合計	1,632,116	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,982,985				
繰入金	0		繰越金	1,982,985	
合計	1,982,985		合計	1,982,985	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

書籍のご案内

事務局で取り扱っている書籍のご案内です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください！



証言資料集 全3冊

絶賛！好評発売中！

頒布価格 1冊 300円

2冊セットで 500円

3冊セットで 700円



まだお持ちでない方！  
ぜひお買い求め下さい！

韓国・真相糾明委員会発刊書籍

← 『委員会活動結果報告書』（日本語版）

ご希望の方は、カンパ 300円（送料込）でお送りします。

『日本の長生炭鉱水没事故に関する報告書』 →

ご希望の方はカンパ 1000円でお送りします。



一世界遺産にふさわしい「普遍的価値」のために知らなければならないことー

日韓市民による世界遺産ガイドブック

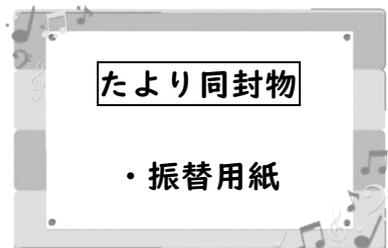
「明治日本の産業革命遺産」と強制労働

2015年7月、「軍艦島」（栗島）や三井三池炭鉱、八幡製鉄所、長崎造船所など太平洋戦争中に数多くの朝鮮人のみならず中国人、連合軍捕虜などが強制労働を強いられた施設を含む「明治日本の産業革命遺産」が「西洋から非西洋への産業化の移転が成功したことを証言する」「顕著な普遍的価値」を持つ産業遺産としてユネスコの世界遺産に登録されました。これは「富国強兵」「殖産興業」のスローガンのもと、朝鮮半島の植民地化、中国人途での利権拡大をめざしてアジア侵略へ突き進んだ日本の「明治の近代化」を賞賛するものでした。これに対し韓国政府は「国際平和と人類の共通の福祉」を目的とするユネスコの精神に反するとして登録に反対をしましたが、日本政府が「強制労働」の事実を説明するための措置を実施することで登録が認められました。しかし今年12月がユネスコへの報告期限であったにも関わらず日本政府は、いまだに約束を果たしていません。そこで、日韓の市民が共同でガイドブックを作成しました。真の歴史を知るためにぜひともご購入ください。

目次	
はじめに	2
1 「明治日本の産業革命遺産」の構成と特徴	5
「明治日本の産業革命遺産」の意義	6
日本の産業革命遺産の形成と遺産構成	9
九州地区の産業遺産登録における弊害の現状	12
2 「明治日本の産業革命遺産」の歴史・国際情勢、植民地、強制労働	15
アジア大陸から押し進められた日本の近代化	16
植民地朝鮮からの強制労働	20
アジア太平洋対戦前における中国人と連合軍捕虜の強制労働	24
3 強制労働の現場ー製鉄所、造船所、炭鉱	29
八幡製鉄所：日清戦争での賠償金で建設	30
三井炭鉱（現・鳥取）：軍需の生産と移民	42
炭鉱・製鉄の歴史：三菱炭業の「日清の争い」	52
三池炭鉱、強制労働を伴った三井炭鉱の歴史	64
4 歴史遺産で強制労働を記憶する意義	75
世界遺産としての強制労働	75
米軍の戦時強制労働、強制労働被害者の権利	79
強制労働の歴史をめぐっての国際的な議論のたのめ	81
資料	
日韓市民団体共同報告書（2017年刊）	85

ブックレットの申込み **1部500円（送料込）**  
 ただし 10部以上まとめて購入の場合1部400円（送料無料）  
 下記郵便振替口座へ入金確認後の発送になります。  
**送金先：（郵便振替口座）00930-9-297182 真相究明ネット**  
 問合せ先 神戸学生青年センター 078-851-2760 携帯 090-8482-9725（中田）

こちら事務局で扱っています



長生炭鉱水没事故77周年  
犠牲者追悼集会のご案内

2019年2月16日(土)

第1部 11時～12時

第2部 13時30分～

詳細は次号で！